

昨年3月末南魚沼市、魚沼市、地元医師会及び県医薬保健課長、県病院局総務課長で組織する「魚沼基幹病院（仮称）等医療提供体制に係る意見交換会」が医療提供体制の再構築の考え方を示しました。これで決定ではありませんが、関係者の意見交換会を受けて示された考え方であり、可能性を考える上で参考になると思うので、以下に記載します。

**【参考】「魚沼基幹病院（仮称）等医療提供体制に係る意見交換会」により示された考え方（概要）**

**1. 基本的考え方**

新潟県と南魚沼市、魚沼市の適切な役割分担・連携のもと初期から高度まで、地域に必要な安全、安心の医療を確保する。

**2. 各自治体の役割**

**・新潟県の役割**

県立六日町、小出両病院の機能を統合し南魚沼市大和地内に公設民営で（仮称）魚沼基幹病院を整備し、拠点医療を確保する。

南魚沼市、魚沼市に必要な支援を行う

**基幹病院の基本機能**

- ・高度救急医療機能
- ・地域医療支援機能
- ・臨床研修等機能
- ・災害時医療拠点機能
- ・総合的な精神科医療機能
- ・医師派遣に関する支援機能

**・南魚沼市の役割**

南魚沼市総合計画による「健康の杜構想」の中で、六日町病院及びゆきぐに大和病院を再構築し、市民に身近な医療を保健、介護、福祉と一体的に確保し、予防からリハビリまで、地域で総合的な健康づくりが可能な体制を作る

**現六日町病院**・・・主に一次医療や一次救急医療機能、慢性期・回復期の入院機能及びリハビリ機能

**ゆきぐに大和病院**・・・現在の入院機能は基幹病院で担う方向で整理。今後一次医療等の提供のあり方について検討。

**・魚沼市の役割**

魚沼市民保健医療センター基本構想（案）の中で、小出病院を再構築し、市民に身近な医療を保健、介護、福祉と一体的に確保し、予防からリハビリまで、地域で総合的な健康づくりが可能な体制を作る

**現小出病院**・・・主に一次医療や一次救急医療機能、慢性期・回復期の入院機能及びリハビリ機能



参考写真  
新発田病院（基幹病院）

**基幹病院推進に向けての経過**

H12	小出病院老朽化と改築問題、魚沼地域の救急医療体制など県議会で議論 平山知事県内30分以内での高度救命救急体制整備を公約
H13	「新潟県健康福祉計画」に魚沼地区の高度救急医療体制検討を文書化
H15	「魚沼地域の医療高度化検討会議」発足（3部会）
H16	上記検討会議が「検討結果」を県福祉保健部に提出。「魚野川筋で限りなく北魚沼に近い南魚沼」を付記。「魚沼地域基幹病院設立推進協議会」発足
H17	上記推進協議会で9月要望書提出（以下概要） ・設置、運営は県が行う ・一般病床300～400、精神病床50～100とする ・既存県立病院の運営については、地元自治体と誠意を持って検討対応すること
H17	上記推進協議会で10月再度要望書提出（以下概要） ①基幹病院の建設、運営は県の意向を尊重するので早期着手、開院を求める ②県立病院、市立病院の今後のあり方は、両者納得の上で方向決定を求める ③県庁内に専門事務局早期設置を望む
H17	「南魚沼市基幹病院等検討委員会」設置（11名）
H17	「南魚沼市議会基幹病院設置推進特別委員会」設置（8名）
H18	6月 六日町病院、小出病院はその機能を「基幹病院」に統合設置する考えを示す。設置場所は浦佐地内
H18	県が基幹病院、魚沼市が現県立小出病院、南魚沼市が現県立六日町病院の診療機能について、それぞれ3つのワーキングチームで検討進める
H19	（左欄に記載）